

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 6月演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『天保遊俠録』	○			
	『通し狂言 新薄雪物語』	○		○	○
	『夕顔棚』	○			
新橋演舞場	『プリティウーマンの勝手にボディガード』			○	○
三越劇場	『十三夜』			○	
	『残菊物語』				
松竹座 (大阪)	『レビュー春のおどり』	○		○	○
	『湧昇水鯉滝 通し狂言 鯉つかみ』			○	○
南座(京都)	第22回都の賑い				
博多座	『播州皿屋敷』	○		○	○
	『連獅子』	○			
	『曾根崎心中』	○			
	『ぢいさんばあさん』	○			
	『四代目中村鴈治郎襲名披露口上』				
	『芸道一代男』				
巡業	市川猿之助特別舞踊公演			○	
	『裏町の友情』	○			
	『御目見得口上』				
	『駕籠や捕物帳』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂ACTシアター	5月	『TAKE FIVE』プログラム
赤坂RED/THEATER	6月	トム・プロジェクト『エンドロール』プログラム
あうるすぽっと	5月	オペラシアターこんにゃく座『ロはロボットのロ』プログラム 藤間勘十郎文芸シリーズ其の壱『綺譚桜の森の満開の下』プログラム
	6月	文学座『明治の枢』プログラム、台本
EXシアター六本木	5月	『ルーマーズ 口から耳へ、耳から口へ』プログラム
紀伊國屋ホール	5月	劇団俳優座『フル・サークル ベルリン1945』プログラム、台本
紀伊國屋サザンシアター	5月	青年劇場『オールライト』プログラム、台本
	6月	劇団民藝『クリーム之夜』プログラム、台本
国立劇場大劇場	5月	前進座公演『番町皿屋敷・人情噺文七元結』プログラム 舞踊公演『能狂言の舞踊』プログラム
	6月	歌舞伎鑑賞教室『壺坂靈驗記』プログラム
国立劇場小劇場	5月	『文楽公演』プログラム、床本
ザ・スズナリ	6月	東京ヴォードヴィルショー『あほんだらすけ27th』プログラム

(新着資料案内 他社演劇公演資料 続き)

下北沢小劇場B1	6月	演劇企画集団THE・ガジラ『ルル』プログラム
下北沢駅前劇場	6月	動物電気『ふっくら!人間関係』プログラム
新国立劇場中劇場	6月	『東海道四谷怪談』プログラム
下北沢OFF・OFFシアター	5月	『ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ』プログラム
青年座劇場	5月	劇団青年座『山猫からの手紙』プログラム、台本
帝国劇場	5月	ミュージカル『レ・ミゼラブル』プログラム
東京芸術劇場プレイハウス	6月	音楽座ミュージカル『ラブ・レター』プログラム
東京芸術劇場シアターイースト	5月	ブス会『女のみち2012再演』プログラム
	6月	グループる・ばる『蜜柑とユウウツ 茨木のり子異聞』プログラム
東京芸術劇場シアターウエスト	5月	城山羊の会『仲直りするために果物を』プログラム
	6月	木ノ下歌舞伎『三人吉三』プログラム
俳優座劇場	6月	劇団昴『ホテル・スイート』プログラム、台本
博品館劇場	5月	『舞台 龍狼伝』プログラム
		劇団スイセイ・ミュージカル『広い宇宙の中で』プログラム
		“創造集団”生活向上委員会『オルガングズ』プログラム
	6月	『百千さん家のあやかし王子』プログラム
パルコ劇場	5月	『Burst!危険なふたり』プログラム
ブルーシアター六本木	5月	『幕が上がる』プログラム
文化座アトリエ	5月	劇団文化座+劇団東演『廃墟』プログラム
本多劇場	5月	日本総合悲劇協会『不倫探偵 最期の過ち』プログラム
明治座	6月	『台所太平記』プログラム

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『ラブライブ! The School Idol Movie』	○		○		
『愛を積むひと』	○	○	○		○
『天の茶助』	○	○	○		
『三人吉三』	○		○		

■ 映画プログラム ■

『ハイネケン誘拐の代償』	『アリスのままで』	『マッドマックス 怒りのデス・ロード』
『映画ひつじのショー バック・トゥ・ザ・ホーム』		『ストレイヤーズ・クロニクル』
『シンデレラ』	『アドバンスト・スタイル』	そのファッションが、人生』
『寄生獣 完結編』	『セッション』	『名探偵コナン 業火の向日葵』
『映画クレヨンしんちゃん オラの引越し物語 サボテン大襲撃』		『グッド・ライ いちばん優しい嘘』
『ワイルド・スピード SKY MISSION』		『脳内ポイズンベリー』
『ナイト ミュージアム エジプト王の秘密』		『エイプリルフールズ』
『あの日の声を探して』	『映画 暗殺教室』	『映画 ビリギャル』
『ブラックハット』	『真夜中のゆりかご』	『ピッチ・パーフェクト』
『スポンジ・ボブ 海のみんが世界を救WoO!』		『イニシエーション・ラブ』
『メイズ・ランナー』	『靴職人と魔法のミシン』	『新宿スワン』
『トゥモローランド』	『台風ノルダ』	『予告犯』
『ハンガー・ゲーム FINAL: レジスタンス』		

(新着資料案内 続き)

■ 演劇雑誌 ■

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 『AAC』2015年Vol.84 | 『芸劇BUZZ』2015年7月-8月-9月号Vol.12 |
| 『Confettiかわら本』2015年5月号,6月号 | 『国立演芸場公演ガイド』平成27年7月号 |
| 『SePT倶楽部 information』
2015年6月号 | 『大向う』平成27年7月号 |
| 『あぜくら』平成27年6月号 | 『伝統文化新聞』2015年(109号) |
| 『ひろば』2015年134号 | 『日本芸術文化振興会ニュース』平成27年
6月号,7月号 |
| 『シアターガイド』2015年8月号 | 『日本照明家協会誌』2015年6月号 |
| 『テアトロ』2015年7月号 | 『日本舞踊』67巻7月号 |
| 『ラ・アルプ』2015年7月号 | 『悲劇喜劇』2015年7月号 |
| 『演劇界』2015年8月号 | 『邦楽の友』平成27年7月号 |
| 『喝采』2015年10月号 | |

■ 映画雑誌 ■

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 『NFCカレンダー』2015年7月-9月号 | 『シネフェックス』2015年No.37 |
| 『NFCニューズレター』2015年6月-7月号 | 『ドラマ』2015年7月号 |
| 『SCREEN』2015年8月号 | 『映画テレビ技術』2015年7月号 |
| 『キネマ旬報』2015年6月下旬号,7月上旬号,
7月下旬号 | 『映画時報』2015年5月号 |
| 『シナリオ』2015年8月号 | 『衛星劇場プログラムガイド』2015年7月号 |
| 『シナリオ教室』2015年7月号 | 『松竹(社報)』2015年120周年記念号外 |
| | 『文化通信ジャーナル』2015年5月号 |

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 『出羽・本歌・入羽 綾子舞、21世紀への伝承』 | 柏崎市綾子舞後援会 |
| 『歌舞伎と宝塚歌劇 相反する、密なる百年』 | 吉田弥生(編著)、阿部さとみ[等](著) 開成出版 |
| 『おどりは人生』 | 鶴見和子+西川千麗+花柳寿々紫(著) 藤原書店 |
| 『俳優座劇場公演ポスター集1954年-2013年』 | 俳優座劇場 |
| 『歌舞伎座(第四期)建物調査報告書』 | 清水建設(編) 歌舞伎座 |
| 『匠の技 歌舞伎座をつくる』 | 清水建設 |

資料をご寄贈くださった方々(敬称略・順不同/2015年4月~年5月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、公益社団法人日本演劇協会、劇団四季、株式会社日本舞踊社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、国立劇場、愛知県美術館、ゴーチ・ブラザーズ、関西・歌舞伎を愛する会、キネマ旬報社、無声映画鑑賞会、文学座、日本映画テレビプロデューサー協会、博多座、演劇出版社、下八十五、俳優座劇場、帝国劇場、一般社団法人日本民間放送連盟、劇団青年座、公益社団法人 国際演劇協会、OSK日本歌劇団、人形劇団ブーク、パルコ劇場、こまつ座、公益社団法人日本照明家協会、東京都江戸東京博物館、ロングランプランニング株式会社、岩波ホール、株式会社カモミール社テアトロ編集部、劇団銅鑼、劇団民藝、銀座 博品館劇場、(株)近代映画社、フィルムセンター、常磐津節保存会、若林さだ吉、シアタークリエ、銀座百店会、日本劇団協議会、伝統文化新聞、おもだか会、日本大学芸術学部演劇学科、前進座、邦楽の友社、日本劇作家協会、日本ウニマ(国際人形劇連盟)、早稲田大学演劇映像学会、三越劇場、シナリオ・センター、早稲田大学演劇博物館、日本映画テレビ技術協会、加藤健一事務所、明治座、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、東京大学出版会、(株)キューブ、日本近代文学館、阪急文化財団、日本芸能実演家団体協議会 実演家著作隣接権センター、日本映画撮影監督協会、玉川大学教育博物館、劇団俳優座

どうもありがとうございました

「松竹創業 120 周年[前期：1895-1935]」展

展示期間：2015 年 6 月 26 日～8 月 14 日／於 閲覧室

7-8 月の展示は、本年に創業 120 周年を迎える松竹株式会社の歴史をたどる資料を展示いたします。松竹株式会社は、白井松次郎・大谷竹次郎兄弟によって創業された会社です。大谷竹次郎が、京都新京極阪井座の仕打（興行主）となった明治 28[1895]年を創業の年として以来、日本の演劇・映画界の一線に立ち、牽引してきました。

今回は、この記念すべき創業の年である明治 28[1895]年より、昭和 10[1935]年までの主な事業に関する資料をご紹介します。

なにしろ、120 年という長い歴史です。それこそ、日本の映画・演劇の歴史が、松竹の歴史に重なっていると言っても過言ではありません。当館の小さなショーケースでは、とても 1 回では 120 年におよぶ歴史をご紹介しますきれませんので、40 年にくぎり、3 回の期間を設けて所蔵資料展示を行います。

今回の展示資料のなかから、一部をご紹介します。右の写真の資料は、どちらも明治 43[1910]年のプログラムで、左よりそれぞれ、5 月新富座プログラム、9 月本郷座プログラムです。

明治 43[1910]年は、松竹が東京へ進出した、記念すべき年です。

明治 43[1910]年、松竹は、現在の中央区新富町にあった新富座を買収し、直営しました。これにより、松竹は東京へ進出し、5 月には直営後初めての歌舞伎公演を行います。そして、新派の本丸というべき本郷座（現在の文京区本郷）も買収し、9 月に松竹直営第 1 回興行として、新派『琵琶歌』を上演します。伊井蓉峰・高田實・喜多村緑郎ら、新派の名優たちが出演したこの興行は、初日から大入りとなり、大成功をおさめました。

新富座と本郷座、東京の二座を手にした松竹は、東京・築地に事務所をかまえ、大阪は白井松次郎、京都と東京は大谷竹次郎が経営することとなり、白井松次郎・大谷竹次郎兄弟は、京都・大阪のみならず、東京の演劇界にも大きな影響をもたらすこととなります。

他にも、白井松次郎・大谷竹次郎兄弟の肖像写真、松竹直営化時の歌舞伎座のステール写真、敷地建物共に松竹資本のみで建築した東京劇場の内部のステール写真やプログラム及び挨拶状、松竹映画の黄金時代を築いた城戸四郎松竹元会長が写っている雑誌「蒲田週報」、松竹第 1 回作品である映画『島の女』のステール写真や、『路上の霊魂』の台本、日本初の本格的トーキー映画『マダムと女房』のステール写真など、演劇・映画それぞれの資料を同時に展示しています。演劇と映画に携わってきた松竹の歴史が、一目でわかるようになっております。

次回展示は、「松竹創業 120 周年[中期：1936-1975]」展の予定です。



[左]明治 43[1910]年 5 月新富座プログラム
歌舞伎『女殺油地獄』かいはいのゆきごじつのはち『會稽 雪 後日鉢
のき 木』『世間師』上演／◆表紙に松と竹が
デザインされている
[右]明治 43[1910]年 9 月本郷座プログラム
新派『琵琶歌』上演

《年表》

(※●【数字】は閲覧室展示での資料番号です)

- 明治 10[1877]年 12 月 13 日 白井松次郎、大谷竹次郎、双子の兄弟として京都に生まれる。
[白井松次郎・大谷竹次郎肖像 ●【1】 図書「映画の小窓」六車修(著)]
- 明治 28[1895]年 大谷竹次郎、京都新京極阪井座の仕打（興行主）となる。これを創業の年とする。
[阪井座辻番付(明治 32[1899]年)コピー●図書「松竹株式会社百年史 本史」より]
- 明治 29[1896]年 1 月 大谷竹次郎、19 歳で阪井座にて第 1 回興行を行う。初代實川延二郎(=二代目實川延若)一座『曾我の実録』『乳貰い』『左甚五郎』上演。

- 明治 35[1902]年 白井松次郎、大谷竹次郎の名前にちなみ、大阪朝日新聞に「松竹の新年」の記事が掲載され、松竹合名会社の名称がはじまる。[大阪朝日新聞記事(明治 35[1902]年 1月 3 日付)コピー● 図書「松竹株式会社百年史 本史」より]
- 明治 37[1904]年 初代中村鴈治郎 12 月 20 日より、松竹資本の京都歌舞伎座に出演。これより鴈治郎は白井松次郎と提携を深め、松竹の大阪・東京進出に大きな役割を果たす。[●【2】スチール 初代中村鴈治郎『椀久末松山』椀屋久兵衛(※上演年月日及び劇場不明)]
- 明治 39[1906]年 2 月 大阪で最初の松竹資本による本格的な興行が、初代中村鴈治郎一座により、道頓堀中座で行われる。
- 明治 42[1909]年 4 月 8 日より、松竹が人形浄瑠璃文楽座を直営として初興行。昭和 38[1963]年に撤退するまで興行を担う。[●【19】プログラム[大阪四ツ橋文楽座](昭和 6[1931]年 6 月)◆資料に「東西松竹合併統一記念興行」とあるのは昭和 6[1931]年に東西の各社を合併して松竹興行株式会社を創立したことによる記念興行のこと]
- 明治 43[1910]年 **新富座を買収し直営化、東京に進出。**3 月曾我廼家喜劇興行
5 月 初代實川延二郎(=二代目實川延若)・初代中村成太郎(=初代中村魁車)・四代目嵐璃瑠一座による歌舞伎公演。『女殺油地獄』『會稽雪 後日鉢木』『世間師』上演 [●【3】新富座プログラム ◆表紙に松と竹がデザインされている]
9 月 新派の本丸である**本郷座を買収し**、松竹直営第 1 回興行を行う。伊井蓉峰・高田實・喜多村緑郎出演で『琵琶歌』を上演 [●【4】本郷座プログラム]
- 大正 3[1914]年 **東京歌舞伎座を直営化** [●【5】スチール 第二期歌舞伎座(明治 44[1911]11 月-大正 10[1921]年 10 月)]
- 大正 9[1920]年 **松竹キネマ合名社を設立し、映画製作を始める**
蒲田撮影所開設 [●【6】雑誌『蒲田』大正 15[1926]年 2 月号特別附録「松竹キネマ蒲田撮影所俯瞰図」[複製] ●【9】雑誌『蒲田週報』昭和 2[1927]年 10 月 23 日 表紙写真[左]松竹映画の黄金時代を築いた松竹元会長の城戸四郎。大正 13[1924]年より撮影所長に就任 [右]井上正夫 新派俳優で映画でも活躍]
11 月 1 日 松竹第 1 回作品である映画『島の女』封切(ヘンリー小谷・木村錦花監督) [●【7】スチール [左]川田芳子]
帝国活動写真株式会社を設立
- 大正 10[1921]年 帝国活動写真株式会社を**松竹キネマ株式会社に改称**、同時に松竹キネマ合名社を吸収、本社を東京・本郷区より京橋区に移転
4 月 8 日映画『路上の靈魂』封切(村田実監督) [●【8】台本]
- 大正 14[1925]年 1 月 大正 10[1921]年に火災のため焼失した**歌舞伎座が復興し、第三期歌舞伎座が開場する** [●【10】歌舞伎座プログラム『家康入国』『連獅子』『玉藻前旭曦袂』『曾我綉侠御所染』五代目中村歌右衛門、十五代目市村羽左衛門、二代目市川左團次出演●【11】スチール 歌舞伎座 1 階玄関ロビー]
- 昭和 3[1928]年 7 月 二代目市川左團次一座によるソビエト公演。初の歌舞伎海外公演となる [●【12】図書「市川左團次 歌舞伎紀行」大隈俊雄(編)]
東京松竹楽劇部創設。12 月浅草松竹座にて、大阪松竹楽劇部(大阪松竹歌劇団(OSK)の前身)の上京公演『奉祝行列』上演。松竹歌劇団(SKD)の前身である東京松竹楽劇部は、この公演に応援出演する形でスタートを切る [●【13】浅草松竹座プログラム ●【14】スチール]
- 昭和 5[1930]年 4 月 **東京劇場新築開場。**敷地建物共に松竹資本のみで建築。[●【15】東京劇場プログラム『義経千本桜』『色彩間苺豆』『京鹿子娘道成寺』『江戸育御祭佐七』六代目尾上菊五郎、十五代目市村羽左衛門、六代目尾上梅幸出演 ●【16】スチール 東京劇場外観、内部 ●【17】挨拶状]
- 昭和 6[1931]年 社内強化のため東西の各社を合併し、松竹興行株式会社を創立
8 月 1 日 映画『マダムと女房』封切(五所平之助監督) 日本初の本格的トーキー映画 [●スチール【18】 [左より]市村美津子、渡辺篤、田中絹代]

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実にかつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2015（平成27）年6月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアタース

どうもありがとうございます



■ 夏期特別整理休館のお知らせ ■

平成27年8月15日（土）より

8月30日（日）まで

資料整理のため休館いたします。
8月31日（月）より通常通り開館いたします。

■ 編集後記 ■

▼7月になり、平成27年も半分が過ぎました。時が経つのは本当に早いです。

さて、七夕になると、毎年事務室内に織姫と彦星の人形を飾っていますが、今年はひさびさに苧環と鞆も登場しました。敷物も、天の川のように立体的に敷かれています。梅雨空ですつきりしない分、室内は彩り豊かに、華やかになりました。そしておやつも華やかに…。ようかんとくず桜、とてもおいしくいただきました。早く梅雨明けして、明るい太陽の姿を見たいですね。

● 利用案内 ●

開館時間

平日午前10時～午後5時

休館日

土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

入館料 無料
閲覧 館内閲覧のみ

● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

